令和８年度事業計画

１　運営方針

令和８年度は、新たに長野市児童育成支援拠点事業業務を受託し、「ながのこどもわくわくカフェ」を運営します。こどもの城の活動は、「こども広場じゃん・けん・ぽん」の指定管理者としての運営を中心に、長野市ファミリーサポートセンター、こども館ながノビ！「森のたんけんひろば」の運営、災害支援事業等妊娠期から思春期まで切れ目のない、また平常時のみでなく緊急時にも支援できる体制が整いました。

子ども達の最善の利益を守りながら、こども達が健やかに成長していく事ができるよう、こども達やその家族、家庭、地域での子育ての支えになれるようより一層の充実を図ります。

２　事業計画

親子のふれあいの場づくりと、子育てに悩む親の支援に関する事業

１　もんぜんぷら座こども広場	
広場に来て過ごすことができる親子だけでなく、出て来づらい親子に対して、待つだけでなく届ける支援の工夫を行っていく。また、働く保護者の休日利用につながるよう、イベント等を計画し実施していく。母親世代が多く利用しているインスタグラム等デジタルツールを活用し、タイムリーな情報発信を行い、支援につなげたい。 **Ⅰ　実施事業** **１　子育て中の親とこどもの交流に関する事業** ア　手形をとりませんか？ イ　ねんねの会、ねんねの次の会 ウ　年齢別のおしゃべり会 上記の他、午前 11 時、午後 2 時半に「手あそび」や「うた」「体を使ったあそび」などを行う。 **２　子育てに関する相談** ア　子育てコンシェルジュ 月・火・水・木・金・土・日 イ　おしゃべり会の開催 ・　年齢別おしゃべり会　（１歳児、２～３歳児） ・　はじめて「ながの」ウェルカム交流会 6/16、7/17、9/14、10/29、11/7 ウ　専門家相談 ・　「こどものこころとからだの相談室」小児科医（第１木） ・　「歯科相談」　歯科医師　月１回不定期	毎月約１週間 毎月各１回 毎月各１回 9：30～17：30 毎月　各１回 年５回 14 時～16 時 10:10～16:30

	・　「お食事なんでも相談」栄養士１名　（第1，３木） ・　「妊娠・出産・母乳相談」助産師３名（第３金） ・　「お母さんの心の相談室」ながの子どもを虐待から守る会（第２土） ・　「療育相談」　療育コーディネーター　　月１回 ・　「就業相談」　就業相談支援員（第３火）　未定（暫定５月～） エ　子育て相談　　毎日 **3　子育てグループ等の育成** ア　子育てグループへの遊びなどの指導者派遣 東部保健センター「あそびましょう」 第三地区「サンサン広場」　　第２木曜 浅川社会福祉協議会「アップルキッズ」 北部保健センター「ふたご・みつご広場」第１月 イ　子育てグループへの活動スペースの提供 ウ　子育てグループの紹介 「長野市子育て支援ガイドブック」をホール内に設置すると共に問い合わせに対しては随時応える。 エ　子育てグループ代表者会議 **4　子育てに関する情報の提供** ア　子育て情報の掲示板の活用 ・利用者からの情報や子育てグループが製作している情報誌等を設置 イ　子育てに関するイベント、団体の情報の掲示 ・イベント情報の掲示板を活用し、長野市内にとどまらず子育てに関するＮＰＯグループの情報を掲示。 **5　あそびに関する指導及び助言** 子育て中の親とこどもの交流に関する事業に含む **6　子育て情報誌の発行** 子育て情報誌「じゃん・けん・ぽん」の発行（隔月）6回発行 **7　子育て講座、イベントの開催** ア　子育て講座 ・　子育てお助けセミナー 園選びについて、熱中症について、感染症について、 事故と安全について、乳幼児とアレルギー等 ・　ノーバディズ・パーフェクト講座　　１コース６日間　週１回 ・　乳幼児の救急講習会 ・　防災講習会（乳幼児と災害） ・　わんぱく散髪講座 ・　食育講習会 イ　ながのわくわくパパ講座 ・子育てを楽しむために、主体的に子育てに関わるいきいきとしたパパの実現を目指す	13:30～15:00 13:00～16:00 10:00～12:00 10:30～12:00 毎日 随時 月２回 月１回 不定期年数回 月１回 ２月 隔月 年４回 １コース 年１回 年１回 6月、1月 年２回 全８回

	ウ　イベント	
	・　来館者 110 万人記念セレモニー	5 月 14 日
	・　相談デー（親と子の歯のつどい、歯科相談、小児科相談、助産師相談、栄養士相談、療育相談、コンシェルジュ相談等）	6 月 4 日
	・　じゃん・けん・ぽんバースデー	6 月 1 日
	・　七夕まつり	7 月 10 日
	・　ミニミニ運動会	10 月 29 日
	・　クリスマス会	12 月 14 日
	・　クリスマスコンサート	12 月 19 日
	・　豆まき大会	2 月 2 日
	・　冬のあそび広場　2026	2/6～2/7
	・　おひなまつり	3 月 2 日
	8　ホームスタート事業	
	妊娠期～6 歳未満の子どものいる家庭へ途切れのない支援	
	・第 13 回ホームビジター養成講座	
	養成講座説明会　　年１回	9/11
	養成講座　　年１コース	10/9～11/13
	・ホームビジタースキルアップ講座・交流会	年 5 回
	4/24、6/11、8/31、12/3、2/26	
	・運営委員会	年 2 回
	・広報活動	随時
	9　利用者支援事業	
	・子育てコンシェルジュを配置し、子育て支援の情報提供を行う。	
	月・火・木・金・土・日	年 307 日
	10　その他子育て支援に関すること	
	ア　世代間交流事業	
	・　折り紙講座（シニア講師）　　第 1、3 木	月 2 回
	イ　ボランティアの受け入れ	
	・　ばぶちゃんからのおはなし・わらべうた（語り）　第 4 水	月 1 回
	・　ベビーマッサージ　毎月	月 1 回
	・　おもちゃ病院の開催　第 2 日	月 1 回
	・　みんなで歌おう（長野少年少女合唱団）　第 3 土	年 10 回
	・　絵本の読み聞かせ（おはなしボランティア）　第 4 土	年 12 回
	・　交通安全のおはなし　隔月	年 6 回
	・　マザーグースの手遊び　偶数月　第 2 水	年 6 回
	・　ほっとひといきママの会　第 2 月	年 12 回
	・　ミニ・コンサート　随時	
	＊　ボランティアの受け入れ	
	サマーチャレンジボランティア、インターシップ、地域まるごとキャンパス等	随時
	ウ　出張広場	
	・　あそびましょう(東部保健センター)	月２回木曜日
	じゃん・けん・ぽんになかなか来られない地域、東部保健センターに出向き、「あそびましょう」を運営する。	
	・　ゆりかごの会	第２火曜日

	権堂イーストプラザ　コミュニティルーム 大勢の人のいる所に来られないお母さんのための広場を開催する。 ・　サンサン広場（第3地区)、　年11回 ・　アップルキッズ(浅川)等に出向き、地域の方と広場を運営する。 ・　ふたご・みつご広場（北部保健センター） 長野市保健所との協働事業、北部保健センターと共催、多胎児親子向けの遊びの広場を運営する。	 第２木曜日 年３～４回 第１月曜日
	エ　子育て中のお母さんのためのリフレッシュ講座 (ｱ)　リフレッシュ講座（自主事業） ・食育講座 ・虫よけスプレーづくり ・メイク講座　等	 年２回 年１回 年１回
	Ⅱ　その他 ア　教育機関との連携 ・長野県立大学こども学科と広場を開催 ・長野看護専門学校臨地実習 ・清泉大学短期大学部こども学科見学実習 ・清泉大学看護学部小児期看護学実習 ・ながの協働ねっと地域まるごとキャンパス　１人３日程度 （短期フィールドワーク） イ　もんぜんぷら座防災訓練に参加 ウ　視察、取材に協力	 4回 年9回(69名) 年9回(65名) 年２回
２　長野市ファミリー・サポート・センター		
	長野市内における育児の援助を受けたい者（依頼会員）と育児の援助を提供するもの(提供会員)を会員として登録し、会員間による育児の相互援助活動を支援し、仕事と育児を両立できる環境を整備し、地域の子育て支援基盤を整備することにより、保護者等の福祉の増進、及びこどもの健やかな育ちを促進する。 実施事業 １　入会説明会 ・会員登録のために月１回開催 ・提供会員向け入会説明会 ・窓口入会 ２　講習会 ア　提供会員・両方会員養成講習会 ・援助活動をするために、知識等を習得する講習会 基礎編　４日間　　7/6～7/11、1/25～1/30 応用編　２日間　　9/3～5、2/25～27 ・提供会員・両方会員研修会・懇談会 ３　会員交流・研修会 全体研修会、ふぁみさぽひろばを開催する ４　２５周年記念事業	 13回 年２回 随時 年２回 年３回 年２回 秋頃を予定

	5　ファミサポだよりの発行　　年２回 6　日常業務について ・会員管理ソフト「ふぁみさぽくん」のクラウド化対応 ・入会手続き ・依頼会員のサポート依頼を受け、提供会員を紹介しコーディネート ・提供会員から送られてくる援助提供書の管理、情報処理 ・会員情報の管理 ・広報活動・・住民自治協議会等に出向き依頼　　随時	4月、9月

3　ホームスタート事業

	家庭内での保育者の孤立感の解消、親の心身の安定を高める、親の子育てへの意欲を高める、親の子育てスキルの学習、問題の発見・モニタリングの目的のため、ホームスタートジャパンの手法を取り入れ、訪問型子育て支援事業「ホームスタート・ながのこどもの城」を運営する。 対象：妊娠期～6歳未満の子どものいる家庭 ・第13回ホームビジター養成講座 養成講座説明会　　年１回 養成講座　　年１コース ・ホームビジタースキルアップ講座・交流会 4/24、6/11、8/31、12/3、2/26 ・運営委員会 ・広報活動 ● ホームスタート関東エリア交流会・エリア会議 5月29日～30日　HSJ総会（ハイブリット） 6月20日～21日　南関東エリア会議	 9/11 10/9～11/13 年5回 年2回 随時

4 児童育成支援拠点事業（長野市業務委託）
ながのこどもわくわくカフェ

	養育環境等に課題を抱える、家庭や学校に居場所のない児童に対して、居場所となる場を開設し、児童とその家庭が抱える多様な課題に応じて、生活習慣の形成や学習のサポート、進路等の相談支援、食事の提供を行うとともに、児童及び家庭の状況をアセスメントし、関係機関へのつなぎを行う等の個々の児童の状況に応じた支援を包括的に提供することにより、虐待を防止し、児童の最善の利益の保障と健全な育成を図ることを目的に実施する。 1　場所　　もんぜんぷら座１階 「こども第三の居場所ながのこどもわくわくカフェ」 2　開催期日　火・木・金／15：00～20：00　　週３日以上 学校の授業の休業日（長期休暇期間等） 10：00～18：00 3　内容　安全・安心な居場所の提供	

学習支援、食事提供、生活習慣の形成、課外活動の提供、保護者への情報提供・相談支援、学校・医療機関・地域団体等関係機関との連携、送迎支援

☆土曜日には、子どもたちに様々な体験をしてもらえる機会を提供

- 学び屋（第１日曜日）
  食育講座　：講師元学校栄養教諭、自分の食事は自分で作ろう！
- ワークショップ(第３日曜日)
  地域の方が先生になって、学校とは違った学びを深めます
  （親子で学べるテーマも！）
  工作体験、化学実験、プログラミング体験など

５　居場所開放事業

児童育成支援拠点事業の対象ではない児童やその保護者も含めて、土曜日にこどもカフェを開設し、体験の場、地域の交流の場を提供し、社会性を育てる。

体験広場

子どもたちに様々な体験をしてもらえる機会を提供

- 学び屋（第１日曜日）
  食育講座　:講師元学校栄養教諭､自分の食事は自分で作ろう！
- ワークショップ(第３日曜日)
  地域の方が先生になって、学校とは違った学びを深めます
  （親子で学べるテーマも！）
  工作体験、化学実験、プログラミング体験など

食事提供

- わくわく食堂の開設（第２・４日曜日）
  地域の子どもとその家族を中心に昼食を提供する
  予約制、会費大人３００円、中学生以下無料

６　災害時支援事業（緊急時子ども支援ネットワーク事業）最終年

休眠預金活用事業３年目の最終年。長野市における緊急時の子ども支援体制の構築を続けるとともに、長野市での取り組みを広く発信することで、緊急時の子ども支援の必要性と体制づくりを長野県内外につなげる中で、多くの市町村関係者から関心を寄せていただいている。

今年度は、令和６年４月に完成させた「長野市緊急時の子ども支援ガイドライン」に基づき、緊急時の子どもたちの変化にどう気づき、どう寄り添っていったらよいのかを具体的にまとめた「緊急時の子どもへの対応ガイドライン」研修を行っていく。

また、緊急時に子ども支援ネットワークが有効に活動できる「長野市における緊急時の子ども支援計画」の完成を予定している。

事業内容

1. 緊急時の子ども支援体制の拡大・強化（交流会等）

2. 緊急時の子ども支援コーディネーターの育成（学習会等）

※ JVOAD 子ども支援ワーキンググープが企画する「緊急時の子ども支援コーディネーター育成研修（仮)」の実施を通して、緊急時の子ども支援コーディネーターを育成
＊飯田市、富山県南砺市他２か所で予定

3. モデル地区における緊急時の子ども支援計画の作成サポート

※ 長野県内 3 地区（今年度は長野市）にて、「緊急時の子ども支援計画」を行政･民間それぞれの子ども支援関係者が、ともに作成することをサポートする
（子ども・子育て世帯向け防災イベント、子育て世帯向け防災講座、災害支援訓練、子ども防災ワークショップ等）

4. 緊急時の子どもへの対応ガイドライン研修の実施

7　ながのこども館　ながノビ！

長野市ながのこども館　ながノビ「森のたんけんひろば」を、長野市開発公社から委託を受けて運営する。

1. 業務の場所
ながのこども館　ながノビ
長野市上松２丁目４番５号（旧　少年科学センター）

２．業務受託期間
令和８年４月１日から令和９年３月 31 日まで

３．開館日
月・水・木・金・土・日　の 9：30～17：00
（休館日：火曜日、年末年始）

４．指定事業の実施に関すること
・『子どもたちの生きる力を育む「科学と遊びの森」城山公園屋内体験施設整備事業』に記された事業実施方針に従って、事業計画を立て施設運営する
・施設及び設備、備品等の維持管理・安全管理に努める

５　イベント
（１）目的
・安全で衛生的な環境の中で、のびのびと親子で遊び過ごせるよう整える。
・子どもたちの感覚の発達を豊かにし、体力・運動能力の向上に繋がるよう援助する。
・遊びやイベント企画を通じて様々な経験をする中で、親子や友だちとの関りを楽しむ。

（２）内容
外部講師　　10：30～11：15

・親子でリトミック	第２月曜日	参加費１組 500 円
・わらべうたベビーマッサージ	月１回曜日不定期	参加費１組 500 円
・親子ビクス	偶数月木曜日	参加費１組 500 円
・相談：子育てコンシェルジュ	第３金曜日　10：00～12：00	無料

スタッフ

・季節の行事	第１水曜日	10：30～11：10 材料費実費（100～200 円）
・親子でおはなしなあに	第２金曜日	11：00～11：30　無料
・親子でアート	第３水曜日	10：30～11：10 材料費実費（100～300 円）

	・親子でかんたん工作　　平日　9：30～16：30 団体利用時間帯は実施しない　　材料費実費(100～300 円)	

＊こどもの心とからだの相談事業＊

1　こどもの心とからだの相談室		
	1　日時：毎月　第 1 木曜日　　14 時から 16 時 2　会場：もんぜんぷら座　こども広場活動室	年 12 回

＊あそび、体験に関する事業＊

1　食育講座		
	1　会場：じゃん・けん・ぽんホール こども第三の居場所　ながのこどもわくわくカフェ 2　参加者：子育て中の保護者、カフェ参加の子ども（月 1 回） 3　内容：　季節に合わせた食文化を親子で楽しみながら体験する。	
2　冬のあそび広場２０２７		
	もんぜんぷら座で開催されるフェスタもんぷら 2027 と同時開催する。 1　場所：じゃん・けん・ぽん 2　日時：令和９年２月６日～２月７日	

＊こどもの活動に取り組む人材育成事業＊

1　中高生の子育て理解講座の開催		
	1　会場：もんぜんぷら座 2　サマーチャレンジボランティア期間３日間の中で開催する。	
2　地域まるごとキャンパスへの参加		
	高校生以上の学生に、地域・社会づくりの担い手となりうる「市民性」を育むことをねらいとした活動に、短期フィールドとして参加。 こども広場　じゃん・けん・ぽん　　8 名　延べ 24 日 ながのこどもわくわくカフェ　　6 名　延べ 20 日	

＊こどもの文化芸術に関する事業＊

1　こどものアートプログラム		
	講師を招き、親子で絵画体験ができるプログラムを実施 年１回　開催	年１回

＊子育て情報誌の交流促進や、子育て情報誌の発行事業＊

1　ホームページによる情報提供		
	日々情報を更新。また、昨年に引き続き各事業スタッフが、交代でブログ等を毎日更新する。 ホームページをリニューアル　　随時 Face book　への投稿 インスタグラムの投稿	
2　週刊長野等への情報提供		
	・週刊ながのへじゃん・けん・ぽん便り「子どもも親も「いきいきと」として、理事交代で月１回子育ち・子育て支援の情報の提供をする。 ・モナミ、ほっとパル等へ広場の開催内容の情報提供	毎月　12 回

＊子育てに関わる各種グループや、機関団体との交流促進事業＊

教育機関との連携		
1　清泉大学短期大学部非常勤講師派遣事業 （清泉大学短期大学部との連携事業）		
	清泉大学短期大学部こども学科「子育て支援」授業に非常勤講師としてスタッフ２名を派遣する。また、見学実習の場としてこども広場を提供する。 1 科目　　子育て支援　30 人ずつ 3 回　　(2 年生) 2 期日　　令和７年４月１日から令和８年３月 31 日 1 回　講義 90 分×6 日、見学演習 3 時間×3 日 (春期、秋期 2 回)	
2　長野県立大学健康発達学部こども学科と長野市連携事業		
	長野県立大学健康発達学部こども学科と長野市・長野県県立大学連携事業として、「赤ちゃんママのおしゃべりカフェ」を開催する。 内容：校内に設置されているプレイルームを活用し、初めてママの交流を促進する。　　年４回	年４回

３　長野看護専門学校

長野看護専門学校母性保健学講座の臨地実習の場として連携。
5月　から　9月

４　清泉大学　看護学部

・小児期看護学実習の臨地実習の場として連携　（3年生）
10月16、30日、11月13日、27日、12月11日、1月16日、30日、
延べ日数7日、参加人数65人
・統合実習の見学実習の場として連携　（4年生）
9月10日、11日　６名程度の予定

長野市との連携

１　長野市キャリア教育推進事業「赤ちゃんだっこ」

乳幼児とその保護者が長野市内の中学校に出向き、幼児とのふれあいを通して、幼児に関心を持つとともに、自分の成長や家族・家庭、幼児の発達と生活について関心と理解を深め、家族や幼児に積極的にかかわることができるようにする。また、これからの生活を展望して、課題をもって家庭生活をよりよくする態度を育てる。

実施中学校　6校　12学級

２　ながの子ども・子育てフェスティバル

１　趣旨　子どもを産み育てやすい長野市の実現に向けて、子ども達の健やかな成長を願い、地域で子育てを応援している団体・企業が集い、その想いを共有し、地域・社会が一丸となって子ども・子育てを支えるためのネットワークを形成するとともに、子ども・子育て家庭と支援者がつながる場とする。

２　事業案
（１）第８回ながの子ども・子育てフェスティバル　　10月４日（日）
10月４日　日曜日　　午前10時～午後3時
長野市芸術館　周辺
（２）交流ワークショップ・企画会議
・出展者のネットワークと協働し、ワークショップの開催

３　主催　ながの子ども・子育てフェスティバル実行委員会
構成団体として参加（理事長：実行委員長、事務局）

３　休日マタニティセミナー　（長野市保健所との協働事業）

１　日　時：毎月第２日曜日　13：00～16：00

２　会　場：もんぜんぷら座こども広場

３　スタッフ：助産師、管理栄養士等　４人

	４　対　象：第１子出産予定で妊娠 24～32 週の妊婦とその夫（家族）のべ 192 組（先着順） ５　方　法：　13：00～16：00　　１回 16 組 ６　内容等 ・講　　話　　妊娠中の食生活・赤ちゃんのいる生活 ・体験学習　「沐浴・新生児の着替え」「抱っこ・授乳姿勢・母乳育児」	
４　あそびましょう		
	もんぜんぷら座こども広場「じゃん・けん・ぽん」に出て来にくい東部保健センター地域に出向き、地域密着の保護者の育児支援を保健センター保健師等と共催で行う。 １　開催日　　毎月第３、４木曜日を中心に月２回 ２　開催場所　　長野市東部保健センター ３　対象　　0 歳から 3 歳までの未就園児とその保護者 ４　内容　　手遊び・体操、ワンポイントアドバイス	年 24 回
５　ふたご・みつご広場		
	長野市保健所との協働事業、北部保健センターと共催。 多胎児親子向けの遊びの広場を長野市民生児童委員協議会主任児童委員部会のボランティアと運営する。今年度より長野市中枢連携都市圏の親子も参加可能となった。 日時　毎月第１月曜日　　10 時から 11 時 30 分 予約なし	年 12 回
６　ひとり親家庭交流会事業		
	長野市子ども未来部こども家庭福祉課と連携し、ひとり親家庭交流会を企画運営する。 年１回 長野市もんぜんぷら座ぷらざホール、わくわくカフェ	
地域との連携		
１　第三地区「サンサン広場」		
	第三地区まちづくり協議会主催の未就園児を持つ母親のストレス解消するための「子育てサロン」の運営を支援する。また、地域の方々を子育ち・子育てボランティアとして育成する。 毎月　第２木曜日	年 11 回
２　地域との連携		
	中心市街地を中心に権堂町等地域の行事に積極的に参加する。 ７月　　・・祇園祭に参加	

	８月　　・・権堂町七夕まつり ２月　　・・灯明まつり ・長野市権堂イーストプラザ市民交流センターと「まちなかリユースマーケット」を開催（じゃん・けん・ぽん）　年２回 ・「ながのこどもわくわくカフェ」の活動として新田町区の各種行事等に積極的に参加する。 ・アップルキッズ(浅川)等に出向き、地域の方と広場を運営する。	

他機関との連携

1　長野労働局との連携

	1　長野労働局が開催した「子育て女性に対する就業支援事業」における受講者の託児を実施する。　　月１回 2　模擬就職面接時の際の託児　　随時	年 11 回

2　信濃毎日新聞社との連携

	県事業「若者のライフデザイン支援事業」の受託者である信濃毎日新聞社と連携して「乳幼児触れ合い体験」実施する。 実施時期：９月 実施回数：１回	

＊チャイルドライン事業＊

チャイルドライン

	1　重点事項 (1)「受け手」「支え手」の確保・質の向上に努める。 (2)　カード協賛企業、賛助会員、寄付金の運営資金の協力を要請 (3)　募金箱の設置依頼 **2　事業実施の概要** (1)　チャイルドラインながの運営 ①　電話受付業務　　週２日、月・水曜日の午後４時から午後９時まで開設 チャット受付業務　第２、第４水曜日の午後４時から午後９時まで開設 ②　「第 24 受け手養成講座」を開講 チャイルドライン専用回線で子どもの電話やチャットを受ける「受け手」「支え手」を養成する。 2026 年 8 月～10 月まで 10 回の講座を実施予定 「受け手」は養成講座受講修了後、受講者の中から選任する。 ③　受け手、支え手のスキルアップを図るための継続研修を実施 「支え手」は現在受け手として活動している方の中から選任する。	

	④ 運営委員会を開催する。 ⑤ 総会、全体交流会を開催 ⑥ 全国キャンペーン（8 月 22 日～9 月 4 日）可能な範囲で参加 ⑦ 24 時間キャンペーン　可能な範囲で参加 (2) 事務所の運営 ① 事務局（3 名）を置き、業務に従事する。 (3)広報 ① チャイルドライン事業を広く周知し、行政や地域の方々に理解、支援してもらうため、活動実績やデータの入ったパンフレットを作成し配布する。 ② 養成講座実施チラシを広報、設置 ③ 長野県チャイルドライン 4 地区と連携し、長野県の子どもたちにカード、ポスターを配布する (4) 財政・渉外 企業、他団体へ訪問する。カード協賛・募金箱の設置場所を増やす。 (5) 長野県チャイルドライン推進協議会の事業及び研修会に参加・協力する。 (6) チャイルドライン支援センターの事業及び研修会に参加・協力する。	